

2023 年度近畿本部化学部会活動報告と 2024 年度計画

近畿本部化学部会長 伊藤雄二

1. 2023 年度（昨年度）活動報告

昨年度は、感染症収束にともなう緊急事態の措置が解除されて、新たな常態が始まった年となりました。

部会活動においては、2025 年大阪・関西万博への準備を意識して、化学技術力の発揮、デジタル技術の取り込み、マテリアルイノベーション並びに本気のカーボンリサイクルを考えるテーマに取り組みました。

「物質エネルギーへの化学技術力の発信（継続）」の活動方針に対しては、本年度の講演企画をする活動の中で、実践をはじめました。

主な事業活動である CPD 講演会・見学会・勉強会は、開催回数は 5 回と前年度と同規模となりました。見学会は開催するに至りませんでした。

4 月総会記念講演や 10 月例会では外部講師から「マテリアルイノベーション」について講演していただきました。12 月例会では内部講師から具体的な取組の紹介と技術討議を行いました。

7 月と 2 月は他の部会・研究会との合同講演を継続しました。メインテーマとして、それぞれ『万博関連イノベーションと里山環境』、『健康・安全・環境』を取り上げました。

参加者数は、CPD 講演会 5 回 65 名（会員 60 名）でした。なお、昨年度は 4 回開催で参加総数は 78 名でした。参加数減少の要因としては、化学技術を含む場合と含まない場合に生じる参加数の変動が大きいと解析しました。

幹事会活動は、部会活動の充実を図る活動方針（継続）のもとに実施しました。

1) 部会事業の充実に向け企画・運営を強化

企画では、副部会長を選任して、担当幹事のグループ化をしました

会計では、会計幹事を選任して、副部会長兼務にしました

報告では、査読者を総監の役割として、ノウハウの蓄積に努めました

2) 協会・団体に発信し社会貢献に寄与

『化学物質管理』専門の協賛団体に對外発信能力の協力を得ました

3) 近畿本部等と連携し部会の基盤を充実

統括の化学部会幹事会と下記のテーマで協議しました

『化学物質管理研究会』近畿支部へのガバナンス支援策

『日本化学会春季年会』（2025 年春は関大）への協力体制

『近畿本部化学部会設立 50 周年行事（2026 年）』への協力要請

近畿本部環境研と下記のテーマで協議しました

『本気のカーボンリサイクルと考える』テーマへの協力要請

2. 2023年度会計収支報告（HP 掲載は割愛）

- ・ 会計監査報告、2023 年度会計収支報告

3. 2024年度活動方針

- ・ 部会事業の充実に向け企画・運営を強化
- ・ 協会・団体等に発信し社会貢献に寄与
- ・ 近畿本部等と連携し部会の基盤を充実
 - 未知の領域への対応
化学技術力の発揮とカーボンリサイクルの取組
 - 新たな常態に向けて
デジタル技術を取り入れ、イノベーションの取組

4. 2024年度幹事会メンバー一覧

- ・ 伊藤雄二 部会長 近畿本部幹事 化学部会（統括）幹事
- ・ 齋藤俊 副部会長 企画主担当
- ・ 高岡直樹 副部会長 会計幹事 企画担当 MOC S 研幹事
- ・ 中田将裕 副部会長 報告主担当
- ・ 藤橋雅尚 報告担当
- ・ 堂動剛 企画担当
- ・ 橋本隆幸 報告担当
- ・ 久保田正博 報告担当
- ・ 末吉俊信 (委嘱) 業務監査役
- ・ 和田信之 (委嘱) 会計監査役
- 《新任》
- ・ 濱崎彰弘 企画担当 環境研幹事
- ・ 島野紘一 企画担当 会計副担当 MOC S 研副担当
- 《退任》
- ・ 喜多雅巳 元会計監査
- ・ 出口義国 元企画・報告・監修担当

以 上